

果樹カメムシ類の多発生にご注意ください！

チャバネアオカメムシやクサギカメムシなどの果樹カメムシ類（写真1、2）は、各種果樹の果実を吸汁し、果実の落下や奇形などを引き起こします（写真3）。

フェロモントラップを用いたチャバネアオカメムシの誘殺数調査の結果、6地点中3地点で5月第4半旬までの総誘殺数が多くなっています（表1、平年比：369～802%）。特に5月第3～4半旬の誘殺が増えており、平年と比べ発生時期が早い傾向です（図）。

チャバネアオカメムシは、前年にスギ・ヒノキの球果量が多いと翌年4～7月に発生する越冬世代が多くなります。昨年はスギ・ヒノキの球果量が多かったため、今年は越冬世代の発生が多いと予想されます。今後、気温の上昇に伴って、果樹園への果樹カメムシ類の飛来が多くなることが懸念されます。



写真1 チャバネアオカメムシ成虫

写真2 クサギカメムシ成虫

写真3 カメムシ類の加害による奇形果

表1 チャバネアオカメムシのフェロモントラップによる誘殺数

調査地点	5月第4半旬の誘殺数	発生程度	調査開始から5月第4半旬までの総誘殺数		調査開始時期
			総誘殺数(頭)	平年比(%)	
宇都宮市①(北部)	77	多	268	802	4月第1半旬
芳賀町	131	多	314	369	
那須烏山市	0	少	2	154	
矢板市	3	やや少	5	16	5月第1半旬
宇都宮市②(西部)	159	多	483	793	
佐野市	4	少	11	22	

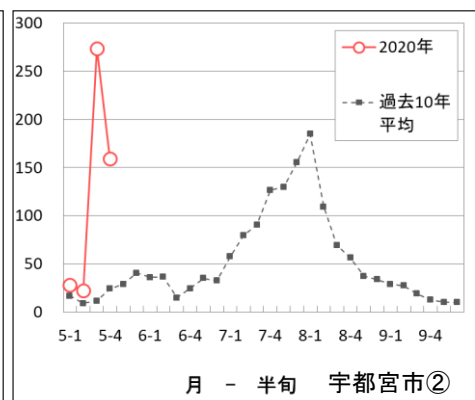
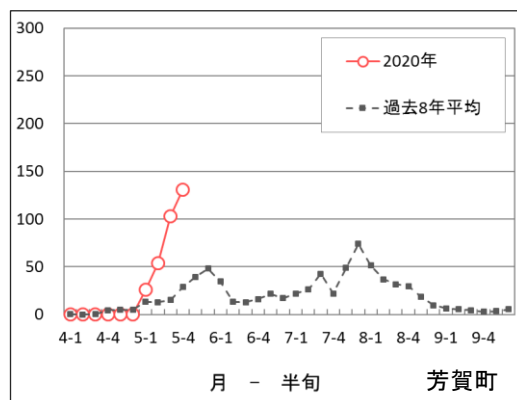
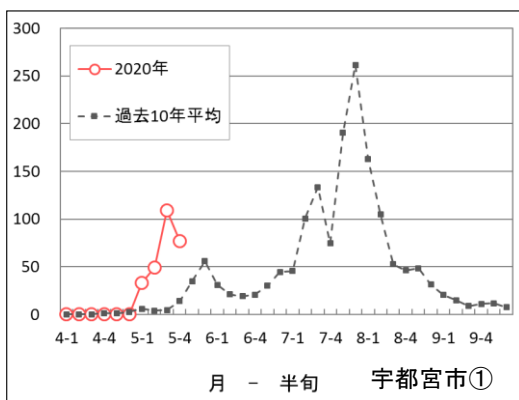


図1 チャバネアオカメムシが多く誘殺された地点のフェロモントラップのデータ（縦軸は誘殺数）

1 防除対策

- 4mm 目合以下の多目的防災網を展張する。展張に併せて網内に害虫が残らないように防除する。
- 袋掛けを早めに行う。
- ほ場をよく観察し、飛来が確認されたら防除する。カメムシ類の飛来は長期間続くため、表2を参考に残効期間の長いピレスロイド剤や、忌避効果の期待できるネオニコチノイド剤を効果的に使用して防除する。

2 注意点

- 山林に隣接するほ場や、過去に多発したほ場では特に注意する。
- 蒸し暑い日没時に果樹園への飛来が多い。
- 過度の薬剤散布は、天敵相を破壊し、ハダニ類やカイガラムシ類の多発生を招くので、必ずカメムシ類の飛来を確認してから防除する。
- 夕方や早朝の防除が有効であるが、近隣への薬剤のドリフトや、騒音に注意する。

表2 カメムシ類に登録のある主な薬剤（令和2(2020)年5月28日現在）

作物名	農薬の名称	使用時期	希釈倍数	本剤の使用回数	系統	IRACコード		
かんきつ	テルスターフロアブル	収穫前日まで	3000～6000倍	3回以内	ピレスロイド	3(A)		
	アグロスリン水和剤/乳剤	収穫7日前まで	2000倍	3回以内				
	MR.ジョーカー水和剤	収穫14日前まで	2000倍	2回以内				
	スタークル/アルハ [®] リン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2000倍	3回以内	ネオニコチノイド	4A		
	ダントツ水溶剤	収穫前日まで	2000～4000倍	3回以内				
	アクタラ顆粒水溶剤	収穫14日前まで	2000倍	3回以内				
	アドマイヤーフロアブル	収穫14日前まで	2000～5000倍	3回以内				
なし	スプラサイド水和剤(有袋栽培)	収穫7日前まで	1500倍	3回以内	有機リン	1(B)		
	スプラサイド水和剤(無袋栽培)	収穫21日前まで	1500倍	2回以内	ジアミド	28		
	テッパン液剤	収穫前日まで	2000倍	2回以内				
	アーデントフロアブル	収穫前日まで	2000倍	3回以内	ピレスロイド	3(A)		
	アグロスリン水和剤	収穫前日まで	1000～2000倍	3回以内				
	テルスターフロアブル	収穫前日まで	3000～6000倍	2回以内				
	MR.ジョーカー水和剤	収穫14日前まで	2000倍	2回以内	ネオニコチノイド	4A		
	アクタラ顆粒水溶剤	収穫前日まで	2000倍	3回以内				
	スタークル/アルハ [®] リン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2000倍	3回以内				
	ダントツ水溶剤	収穫前日まで	2000～4000倍	3回以内				
	モスピラン水溶剤/顆粒水溶剤	収穫前日まで	2000～4000倍	3回以内				
アドマイヤー顆粒水和剤	収穫3日前まで	5000～10000倍	2回以内	ジアミド	28			
もも	テッパン液剤	収穫前日まで	2000倍			2回以内		
	MR.ジョーカー水和剤	収穫前日まで	2000倍			2回以内	ピレスロイド	3(A)
	アーデントフロアブル	収穫前日まで	2000倍			3回以内		
	アグロスリン水和剤	収穫前日まで	2000倍			5回以内		
	テルスターフロアブル	収穫前日まで	3000倍			2回以内	ネオニコチノイド	4A
	アクタラ顆粒水溶剤	収穫前日まで	2000倍			3回以内		
	スタークル/アルハ [®] リン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2000倍			3回以内		
	ダントツ水溶剤	収穫7日前まで	2000～4000倍	3回以内				
アドマイヤーフロアブル	収穫3日前まで	5000倍	2回以内					
りんご	スプラサイド水和剤	収穫30日前まで	1500倍	2回以内	有機リン	1(B)		
	テッパン液剤	収穫前日まで	2000倍	2回以内	ジアミド	28		
	アーデントフロアブル	収穫前日まで	2000倍	3回以内	ピレスロイド	3(A)		
	テルスターフロアブル	収穫前日まで	3000倍	1回				
	MR.ジョーカー水和剤	収穫14日前まで	2000倍	2回以内	ネオニコチノイド	4A		
	スタークル/アルハ [®] リン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2000倍	3回以内				
	ダントツ水溶剤	収穫前日まで	2000～4000倍	3回以内				
	アクタラ顆粒水溶剤	収穫7日前まで	2000倍	2回以内				
アドマイヤー顆粒水和剤	収穫3日前まで	5000倍	2回以内					

詳細は、農業環境指導センター (<http://www.jppn.ne.jp/tochigi/index.html>) までお問合せ下さい。

病虫害情報発表のお知らせは「農政部ツイッター(@tochigi_nousei)」でも発信中です。

(TEL 028-626-3086)